発行責任者: 植野圭哉 社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会

〒260-0022 千葉県千葉市中央区神明町 204-12 TEL:043-308-6372 FAX:043-308-5562 メールアドレス:chibadeaf@deaf.or.jp ウェブサイト:http://www.chibadeaf.or.jp/

災害時の支援

令和元年12月

千葉県は未曾有の災害に連続で見舞われまし その時、千葉聴覚障害者センターでは…

台風15号 9月9日(月)

最大瞬間風速 57m/s

強風により倒木等、大規

- HPに災害用ページを立ち上げ
- 動画配信「千葉の台風被害状況」
- 災害対策会議
- 罹災証明の申請方法など情報発信
- ピア相談支援専門員の訪問支援

9月9日午後 各市聴覚障害者協会へ 被害状況緊急アンケート実施

なし

42%

あり 58%

アンケート回答率

##で | か月分の降雨量

台風19号 10月12日(土)

多重被災となる

動画配信

「千葉の台風被害状況・続報」

『電話リレーサービス』は休まず運営 オペレーターは職員が担当

県庁と連携し、前日より 24 時間体制に

122件 101 件 53件

■手話 A 🛚 文字 B

通常件数の合 倍

「停電で通信障害

①FAX 機が機能停止

②停電によりパソコンのメールも届かず

③スマホや携帯の 充電ができない

台風 21号 10月25日(金)

県内1河川の氾濫

交通網が寸断される

動画配信「千葉の大雨被害状況」

らいおんぐるーぷの利用者の送迎に万全の体制をとった。

受付時間:9:00~17:30 TEL:043-308-6372 FAX:043-308-5562 千葉聴覚障害者センター

第37号 房 総

◇この災害に当センターはどう対応したか!

強風により長期の大規模停電

通信不能に、安否確認が極めて困難に

台風15号は、最大風速57メートル!強風による倒木、落下物の飛散などにより、送電線の断絶や電柱倒壊(84ヶ所)、電柱損壊(2000本)など、被害が拡大し、広域的な停電がしかも長期間にわたる停電が発生し、前代未聞の甚大な災害となった。

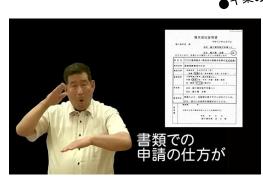


映像をJP作成し、被害状況の 作成し、被害状況の



県庁と連携24時間体制に

台風19号は、前号の教訓から事前に県下の協会に 防災の情報提供、注意喚起を図るとともに、県下各自 治体に対して、聴覚障害者への支援協力要請、千葉通 研、県さ連など支援団体には地元の聴覚障害者への 情報提供や安否確認の協力、更に、県庁とともに24時間体制の連携体制を敷くなど、厳戒態勢をとった。





想定外!時間差での浸水被害

台風21号に派生した集中豪雨は、半日で一ヶ月分に相当する雨量となり、みるみる間に危険水位を上回り、県内7カ所の河川が決壊、道路の冠水が始まり午後の時間帯かららいおん工房、らいおん神明、らいおん千葉の建物の浸水が始まったことから、当該施設の利用者・支援者共に千葉聴覚障害者センター館内に避難し一時待機することとなった。 天候が落ち着いたことを確認し、送迎車の配車をして利用者を自宅まで送り届けたが、道路も損壊や浸水で通行止めの中での大渋滞で、それぞれの送迎車両がセンターに戻ってきたのは、夜中の時間帯となった。

台風15号による甚大に被害に加え、復旧途上に立て続けに発生した大雨により、多重災害が発生し、防災・減災における大きな課題が顕在化した。

今回「長期停電」という新たな災害が発生したことから、今後災害特性に応じた仕組みづくりが必要となる。

必要な支援とは?そして今後の課題◇

対策<広域連携>

◆災害種別に対応した防災計画

停電、風水害、地震、それぞれの災害特性 に応じた防災対策マニュアル

- 例) 停電時における情報取得等支援システムの構築
- ・長期停電を想定した、蓄電。充電支援
- ・水害における避難所開設場所の見直し

- ◆手話通訳派遣のおける広域連携システムの構築 市町村の派遣事業と、県センターとの連携
- ◆防災訓練の在り方の見直し

障害当事者も企画段階から参画(九都県市総合 防災訓練)検証できる体制

◆地域防災における共助の在り方についての検討

など

災害時におけるピアの相談支援専門員の役割

ろうの相談支援専門員は、当事者サイドの目線でその主訴を的確にとらえ、深層心理にまで関る支援ができます。災害時においては、被災したろう者に対する心理的ケアにおいて非常に大きな役割を果たします。

千葉県では 台風15号、19号、21号に派生した 集中豪雨の被災地に生活する、一人暮らしのろう高 齢者宅への安否確認のため、ろうの相談支援専門員 による訪問支援が始まりました。 ろう高齢者は、日常生活が一変したことへの驚き、戸惑い、情報が入らない恐怖感による極度な緊張感、先の見通しへの不安感など、そのストレスは頂点に達している状態の中で、ろうの相談支援専門員の顔を見るやいなや、思いのたけがほとばしります。

同じ手話言語をもつ相談員の存在はろう被災者の心理的ケアの側面からも大きな役割を果たします。

今後の防災対策の中に、災害時支援に、ろうの相談支援専門員の果たすべき役割について、明確な位置づけが必要となります。





らいおんぐるーぷの各事業所の建物は、作業や生活に 影響のない程度の一部浸水で済みましたが、残念ながら 台風15号で、らいおん工房の農地にあるビニールハウ スのビニールが剥枯れ、今年ようやく設置した循環扇が 落下してしまうなどの被害を受けました。農作業担当職 員とご利用者様はハウスに応急処置を施し、新しい種を まきました。「おいしいよ」「楽しみにしているね」と待 っていてくださるお客様のために一日も早く元の農作業 現場に戻れるよう力を合わせて頑張っています。

これからも応援してください。どうぞよろしくお願いいたします。



千葉聴覚障害者センター 受付時間:9:00~17:30 TEL:043-308-6372 FAX:043-308-5562

全国初「手話サポーター養成講座」開催

大和ハウスグループの助成金により、本年 12月から、全国に先駆けて手話での傾聴ボランティア「手話サポーター養成講座」が始まります。

手話サポーターは、老人ホームなどで手話が通 じないために孤立している高齢のろう者、家の中 で引きこもっているろう者、ろう重複障害者など と手話でコミュニケーションし、生活の質向上の 手助けをする役割を担うことになります。

養成講座は、全8日間(約40時間)の日程で、 精神障害・知的障害などの専門分野の講師を招き、 講義、実技、ロールプレイを行う予定です。それ ぞれのろう者の特性を理解し、話の引き出し方、 分かりやすい手話の使い方などを実践的に学ぶ 予定です。

手話サポーターが実際に活動するときには、相談員や相談支援専門員等の指示、助言に沿って、相手(ろう者)の孤独や不安を緩和・軽減させる手助けを行うことになります。

受講生が、知識・実技等を習得し、手話サポーターとして活躍する日が楽しみです。

_{養成講座}の お知らせ



く手話>

◇平成31年度手話実技指導講師「現任研修」

期間:令和元年9月~3月 全12コマ

対象者:登録手話実技指導講師

◇令和元年度手話通訳者全国統一試験

日にち:令和元年12月7日(土) 受験資格:手話通訳者養成課程修了者

◇手話通訳者登録試験(3月下旬予定)

受験資格:全国統一試験合格者及び 手話通訳技能認定試験 (旧 手話通訳士試験)合格者

◆平成 31 年度千葉県手話通訳者養成講座 特別講演・合同閉講式

令和2年3月14日(土)

会場:当センター3階多目的ホール

別途ご連絡いたします。

<要約筆記>

◇2019年度全国統一要約筆記者認定試験

令和2年2月16日(日)

受験資格:要約筆記者養成講座修了者

若しくは補習講習会を修了した

要約筆記奉仕員

場所;千葉市教育会館

◇要約筆記者登録試験

(3月下旬予定)

受験資格:全国統一試験合格者

【年末年始緊急連絡先】

令和元年12月29日(日)~令和2年1月3日(金) 千葉聴覚障害者センターは年末年始体制になります。

この期間、緊急の通訳派遣等、ご連絡が必要な場合は下記まで連絡をください。

これて住宅とくたとい

千葉聴覚障害者センター ●9:00~17:30



FAX 043-308-6400

TEL 043-308-6373

●17:30~21:00

緊急転送 FAX 043-242-0050